稲作技術向上（普及員）

【案件概要】

- 現地で農家に技術を伝える「農業普及員」を対象にした研修。日本に半年以上滞在し、実習に重きを置いている。
- 研修員が抱える課題に合わせてデモ圃場を設計。研修員自身で栽培管理・データ収集を行うことで、デモ圃場の計画・実施能力の強化も目指す
- 研修員の稲作栽培技術、普及に関する能力・知識の向上と、対象農村地域のニーズに即したアクションプランの作成が目標

【研修概要】

・実施期間

3月上旬～11月上旬

・対象となる研修員

アフリカの稲作に関わる普及員

（今年度は8カ国9名）

・使用言語：英語



【案件の特徴】

稲作の生産から収穫、加工までの事例を学べる

圃場整理 → 稲栽培 → 収穫 → 販売・加工






日本の最先端技術を学ぶためではなく、過去の事例や取り組みを学ぶことで、それぞれの国のステージに合った技術や取り組みを学ぶ